

2016年3月22日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティアの薄型・軽量ソーラーパネル使用の 屋根一体型カーポートが国富町役場で竣工

地域の電力自給率の向上に貢献

【東京—2016年3月22日】 - ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）の薄型・軽量ソーラーパネルを使用した屋根一体型カーポートが、宮崎県東諸県郡国富町の役場駐車場に設置され、本日竣工式が開催されましたのでお知らせいたします。竣工式には、国富町の河野利美 町長、ソーラーフロンティア代理店販売統括の小北晴夫、その他多くの関係者やメディアが出席しました。同様の発電設備を官公庁施設へ設置するのは、全国初の事例です。

今回設置したカーポートは、ソーラーフロンティア販売代理店である植松商事株式会社が開発した「SOLA+ CARPORT（ソラタスカーポート）」です。この商品は、ソーラーフロンティア製ソーラーパネルの薄型・軽量などの特徴を活かすことで、屋根一体型のスタイリッシュなデザインを実現したほか、雨や雪に対する高い耐性を有します。また独自技術を駆使して、優れた止水構造や短時間での設置を実現しました。

このカーポートは、ソーラーフロンティア製ソーラーパネルを合計12kW（120枚）使用しており、普通自動車4台分および障がい者用駐車スペース2台分の屋根をカバーします。年間発電量は約15,000kWhを見込んでおり、電力は国富町役場で使用されます。

国富町には、ソーラーフロンティアが誇る世界最大級の国富工場が立地しています。同町は「太陽光発電の町」をスローガンに掲げて太陽光発電の普及に取り組んでおり、町内の電力自給率は太陽光発電由来の電力によって100%を超えています。今回設置したカーポートは、併設する蓄電池12kW相当と併せて活用することで昼間に発電した電力を蓄電池に蓄え夜間に使うことができ、国富町における電力の自給率の向上に寄与します。

ソーラーフロンティアは今後とも、CIS技術の優れた特性を生かして、地域と一体となった太陽光発電の普及に取り組み、ひとりでも多くのお客様に太陽による快適でクリーンな暮らしをお届けします。



写真：宮崎県国富町に設置されたソーラーフロンティア製ソーラーパネルを使用したカーポート

以上

【「SOLA+ CARPORT」について】

「SOLA+ CARPORT」の商品詳細については、植松商事株式会社のホームページ (<https://solatasu.jp/index.html>) をご参照ください。

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社（5002, T）の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場（公称生産能力900メガワット）は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVm 認証（JIS Q 8901）」などの第三者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞（製品・技術開発部門）、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部
吉田・八宮 TEL: 03-5531-5792